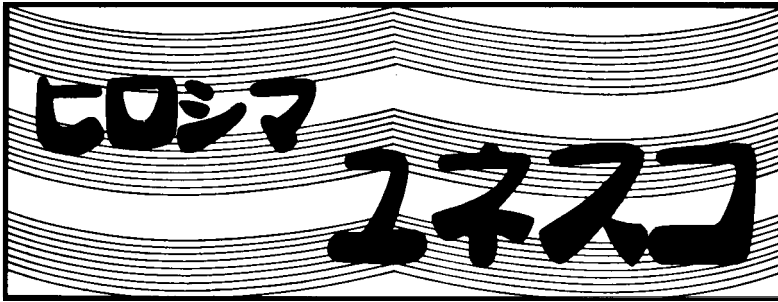


富士山が世界文化遺産に

ユネスコが認定している世界遺産に、日本の名峰・富士山が6月26日、三保松原も含めて正式に世界文化遺産リストに登録されました。おめでとうございます。



平和な世界を願い鐘を打つ（昨年8月）

2013「平和の鐘」の集い 8・15に平和公園で

戦争や災害のない世界願い打ち鳴らそう

今年14回目を迎える「平和の鐘」の集いを8月15日午前11時半から、広島市中区・平和記念公園内の「鐘楼」前に行います。これは

ユネスコが提唱し国連が決めた「平和の国際文化年」の活動の一環として、戦争や争いのない21世紀を願って、日本各地のユネスコ協会が、平和の発信として取り組んできました。戦争や災害のない平和な世界を願って、市民の皆様と共に鐘をつきます。

また、この「鐘」は鋳造家、香取正彦氏の制作による

るもので、「國境のない世界地図」が刻印されていて、「地球はひとつ」であることを象徴しています。

「平和の原点」である広島から、民族や宗教、文化の壁を越え、「鐘の音」を通して、平和を願う心を皆様と共に世界に届けたいと思います。どうぞご参加ください。

（平和・世界遺産部会長 柴田幸子）

広島ユネスコ協会は、今年度、設立40周年を迎えるに当たり、記念事業を計画しています。（既報）

まだ確定の段階ではありませんが、その概略は次の通りです。

《記念講演とパーティー》

10月20日（日）の記念講演講師に広島平和文化センター理事長・小溝泰義氏が内定。講演会を国際青年会館（アステールプラザ）、パーティーを広島市文化交流会館で行う予定です。

《記念誌発行》

内容は、関係者の祝辞、主な事業の総括、年表、機関紙合本、特別寄稿ほか。約200ページ

設立40周年へ行事計画進む

ジ、40部。10月初め発刊予定。《2013中国ブロック・ユネスコ活動研究会》

2014年2月8日（土）、9日（日）。会場は広島市文化交流会館で、「地域ユ協活動とESD（持続発展教育）」がテーマ。15年間に及ぶ当協会のユネスコ活動奨励賞を素材として提供し、ESDの発展の方向を探り、地域ユ協の果たすべき役割を考える。

内容は、記念講演、16回奨励賞表彰式やこれまでの受賞団体活動事例研究ほかを検討中。日本ユ協連、広島県ユ協連などと共催予定。（副会長 古田碩永）

二〇一三年度総会

記念事業や中国ブロック研究会の 成功、ユネスコスクールなど推進

広島ユネスコ協会の2013年度総会が、5月25日に広島市内で開かれ、13年度の重点方針として

- ①広島ユネスコ協会創立40周年記念事業の推進・実施
- ②中国ブロック・ユネスコ活動研究会広島開催の成功
- ③組織の活性化を図る④財政の確立⑤ESD・ユネスコスクールの普及・推進に

部会別の活動

各専門部会の主な活動を抜粋すると、次のとおりです。【組織部会】会員の拡大と会員の交流促進【青少年育成部会】平和公園を英

努める、の5項目を挙げ全力で取り組むことを決めました。

就任の挨拶

会長 北川建次氏

はからずも又平成25年度広島ユネスコ協会会長となりました。本年は内外ともに多事多難な年となりそうです。広島ユネスコも創立



北川 会長

ノーモアヒロシマズへ更に発信強める

それぞれの活動が、よく続いて来たものと思いい、それには歴代の会員諸氏の不屈の努力の賜物と思っております。

語でガイド、高校生英語でまち歩き、時事英語講座Ⅱいづれも市青少年センターと共催。高校生国際理解セミナー（毎年12月23日・祝日に開催、同センターと共催、教育部会と連携）【教育部会】

第16回広島ユネスコ活動奨励表彰、世界寺子屋運動募金活動、書き損じハガキ回収活動【文化部会】ユネスコサロン、新春フェスタ、現地講座【国際部会】「大邱の日」行事支援（5月3～5日、朝鮮通信使国書交換式、パレード、大邱マダン・紹介広場）、ユネスコ大邱協会の交流受け入れ、「ペあせろべ」にコーナー開設

40周年記念、ユネスコ活動奨励賞16周年、広島県連、中国ブロック大会も20周年と、お目出たいことが、次々と続きます。

またESDの持続発展、ユネスコスクールの普及拡大も大切なことであります。

更にユネスコのもっとも大切な平和の構築も、不可欠の事柄であり、ノーモアヒロシマズを目指すヒロシマの、日本、アジア、世界への発信は、とりわけ重要にしてかつ喫緊の課題であります。会員諸氏の御活躍を望みます。

【平和・世界遺産部会】「平和の鐘」の集い2013（8月15日）、杉並ユネスコ協会平和学習の受け入れ、原爆ドーム絵葉書販売促進【広報部会】機関紙「ヒロ

協会役員人事

任期は2年 〇は新任
(兼)は兼任 (敬称略)

名誉会長 松井 一實
名誉顧問 平岡 敬

顧問 伊東 亮三
会長 北川 建次

副会長 木村 進匡
中山 修一 古田 碩永
松原 博子 亀井 章

理事 〇部会長

〈組織部会〉
〇松岡 盛人 末重 文男
平岡 豊恵 井上 哲一
中尾 正俊

〈青少年育成部会〉
〇國田 繁 清水 昌法
木原 亮 内田 一士
松岡 盛人(兼)

〈教育部会〉
〇足立 柳子 崎岡 光明
太鼓矢 晋 藤原 隆範
谷原 久資 世木田寛子
和田 文雄 湯浅 清治

シマユネスコ」の年3回発行、40周年記念誌「10年の歩み」発刊の推進、ホームページの充実【事務局】各種行事、各部会との連携・調整。

〈文化部会〉

〇井尾 義信 新川 貞之
谷 秀明 山本 隆信
高田 幸子

〈国際部会〉

〇藤井 正一 中谷美保子
平井 勇 中道 紘二
児玉 賢司

〈平和・世界遺産部会〉

〇柴田 幸子 由田千鶴子
宇野 豪 畑口 實
井上 哲一(兼)

〈広報部会〉

〇藤川 和康 岡平 裕次
森木 学

〈事務局〉

〇事務局長 藤井 孝行
事務局次長

國田 繁(兼)
佐々木 肇
森木 学(兼)
平井 勇(兼)

〈監事〉
内田 一士(兼)

黒瀬真一郎 竹沢 臣子

青少年・女性のページ

青年たちは広島で何を感じたか!

東京・杉並ユ協の平和研修感想文集から

高校生や大学生を中心とした東京・杉並ユネスコ協会の広島平和研修が3月25日から28日までの日程で行



第15回の広島研修に集った杉並ユ協の高校生や大学生ら

われ、研修の感想をまとめた文集がこのほど、広島ユ協に届けられました。研修は今年で15回目。原爆資料

館の見学や「ヒロシマの集い」(広ユ協主催、前平和文化センター理事長のステイブ・リーパーさんらの講演)に参加、記念碑めぐり、被爆電車の乗車体験、旧海軍兵学校資料館(江田島市)や宮島を見学しました。文集はA4判。手記の一部を紹介してみました。

◇ 「焼野原となつてしまつた広島をこの足で歩いてゐるのを想像したら孤独感でいっぱいになった。心臓がばくばくになった。今でも思い出すとばくばくになる」

「(平和記念資料館の展示で)一番衝撃を受けたのは、原爆が投下された後の情景を再現した展示です。……焼



ステイブ・リーパー氏

け爛れ皮膚が捲れあがつてゐる人々のレプリカでした。……正直この展示のインパクトが強すぎて、他の展示についての記憶は曖昧になつてゐる程です。……もう少しマイルドな展示へと変えようという話があるとも伺いました。しかし私は、このままの展示を続けてほしいと思つてゐます」

の事故は世界の注目を大きく集めています。そのうえで日本の若者は、原発・核兵器・戦争などの平和問題についてどれほど考えているのか」

「海軍兵学校の資料館で)特別攻撃隊の青年たちの遺書が印象的でした。自分と同じぐらいの年齢の青年の死を決意した文章に胸が痛くなりました」



「とても印象に残つてゐるのは、被爆者の方々が自分だけ生き残つたこと、助けられなかったことを後悔し、苦しんでゐるということとです」

「ステイブ・リーパー

さんの講演の中で、私が強く感じたのは日本の若者世代への期待と喝でした。日本は世界で唯一の原爆による被爆国であり、先の震災においても福島第一原発で

に参加した高校生、大学生とたくさん話し合い、仲良くなつた。ひととひととの出逢い、つながりを大切にしたい。……自分の身体でその地の歴史、文化を学びたい。自然に触れたい。知らない人と出合い、仲良くなりた。そう思った。二つ目は、『はだしのゲン』を読み返すこと。三つ目は、現代の世界情勢を、もっと「すること」

ESD・ユネスコスクール「研究会」を設立

広島県
ユ連協

2013年度広島県ユ連協の定期総会が7月13日、県

内各地域ユ協の代表が出席して広島市で開かれ、前年の活動報告・本年度の取組みが審議され、世界遺産・地域文化遺産と並ぶ県ユ連協の重要課題の一つ、ESD・ユネスコスクール(以下、E・U)推進のための「研究会設立」をめぐって活発

に意見が交わされ、承認されました。

同研究会は、E・Uの理論的研究、教材開発、最新情報の収集・発信、関係機関やユネスコスクールとの交流、同スクール加盟申請支援など多面的な活動を目指します。

県内のE・U活動は、これまで2011年発足の県

1回開催)と広島市教委、広島ユ協などが主催した

2011年開催の研修会が開かれましたが、いずれも活動事例の研究発表に重点を置いたものでした。「E・U普及に関する研究」を活動の柱に据える当研究会は、県内唯一の研究開発機関として活動を進めていきます。

研究会の運営は県ユ連ユ

ネスコスクール連絡協議会(県教委主導)が主催する研修会(年



大邱市の代表団が5・3パレードに

広島市と韓国・大邱広域市の姉妹都市提携記念日(「大邱の日」・平成9年5月2日)を祝って、今年も5月3～5日、大邱代表団が広島市のフラワーフェスティバルに参加、朝鮮通信使の再現パレードや伝統音楽の演奏などを行いました。大邱マダン(広場)では、広島ユネスコ協会をはじめとする友好団体のボランティアグループが、韓国衣服の着付けや伝統料理などの応援に当たりました。

治(広島大付属高校教諭・広島ユ協教育部長理事)、卜部匡司(広島市立大准教授・広島ユ協会員)の各氏が選任され、今後、ユネスコスクール加盟校の教師などを対象に組織の拡大を図ります。

研究会が目指す研究と普及。これに次ぐ3本目の矢はネットワークづくりです。県ユネスコスクール連絡協議会と県教委、広島市教委と広島市内ユネスコスクール加盟校・加盟希望校、そしてユネスコスクール大

☆古田中学校でユネスコスクールの認定プレート授与式

広島市立古田中学校が、市立中学校では初めて、ユネスコのユネスコスクールに認定され、3月15日、同校で認定プレートの授与式が行われました。広ユ協の北川建次会長は、同校を訪れ、生徒会会長の森富理恵子さんに、日本ユネスコ協会連盟から届けられた認定プレートを手渡しました【写真】北川会長は「国際理解の学習を深め、被爆地の学校として、国内のユネスコ活動の拠点になってほしい」と激励しました。



ユネスコスクールは戦争や貧困をなくすというユネスコの理念に沿った教育、持続発展教育(ESD)の推進を行う国際的な学校です。2013年3月現在、全国では550校、広島県では24校、広島市では7校あります。(事務局長 藤井孝行)

ユネスコサロン

第154回ユネスコサロンは、3月16日(土)、広島市中区図書館で、NHK広島放送局アナウンサー、清川徹さんが「アナウンサー生活40年から」と題して、放送現場の体験を踏まえて話を。第155回サロンは、5月25日(土)、広島国際会

議場研修室で、比治山大学現代化学部 宇野憲治教授



NHK・清川アナウンサー

授が、宮澤賢治の文学と生き方について講演。



比治山大学・宇野教授

日誌

- 〈13年4月〉
- 13日/役員選考委員会
- 17日/四〇周年記念誌打ち合わせ会 (国際会議場)
- 17日/広報紙84号 編集会議 (国際会議場)
- 27日/理事会 (国際会議場)
- 3/5日/大邱の日・姉妹都市交流のほか(平和大通り)
- 8/13日/韓国ユネスコ大邱

- 協会友好訪問と韓国ユネスコ協会全国大会参加 (大邱・釜山他)
- 15日/四〇周年記念誌編集会議・中国ブロック・ユネスコ活動研究会打ち合わせ会 (国際会議場)
- 23日/会計監査 (広島女学院大学・竹沢宅)
- 25日/第155回ユネスコサロン「宮澤賢治―その文学と生き方―比治山大学現代文学部教授・宇野憲治氏(国際会議場)
- 25日/平成25年度通常総会 (国際会議場)
- 30日/四〇周年記念誌編集会議(広報部会・段原六民館)

教育部理事

崎岡光明氏



25年ほど前、たまたま、日中ユネスコ友好姉妹協会締結の調印式に日本側団長として訪中を間近に控えておられた広島ユネスコ協副会長故加藤朗一先生宅に伺った時のことです。「中国側の要人と腹を割って率直に話ができれば……」と洩らさ

れ、何かご懸念のご様子でした。日中戦時下、北京周辺域で軍務につかれていた先生の脳裡を去来するものがありました。一連の訪中日程を終えられての後日談です。寛大で配慮の行き届いた接遇、世話になった方々の言動にさり気なく込められた、あの国の「恕」の真情に触れ感動したと述懐されたのが心に残っています。

広島ユネスコ協会のひと顔

協会監事

竹沢臣子さん



「一生懸命」「快く進んで」が、私の活動原点だと思っています。ただユネスコ協会にはいつ入会したか定かには思い出せません。私の社会活動の始まりは多くの人がそうであるようにPTAです。親であるために、私たちの資質の向上を直近の目的に頑張った

ことを、今では懐かしく思い出します。その頃ユネスコ協会にお誘いを受けたのも二十数年も前の事でしょう。ずいぶん意気込んで空回りも多かったことと思いますが、会員の方々の交流は知らず知らずの間に、ユネスコの理念と活動を学び体験する場となるものでした。ここ十年余りは背負い込んだものが大きく、ユネスコを遠く感じていましたが、久しぶりに出席した総会で一段と活動が深化していることを感じ、新しい自覚を頂きました。

- 7日/平成25年度「ひろしま国際交流サミット総会」及び「広島国際交流・貢献親睦のつどい」参加(国際部会・藤井部長 広島センター121)
- 8日/中国ブロック・ユネスコ研究会・部長会議 (国際会議場)
- 14日/第16回活動奨励賞会議(教育部会・市民交流プラザ)
- 14日/中国ブロック・ユネスコ研究会打ち合わせ会議 (市民交流プラザ)
- 〈7月〉
- 1日/中国ブロック・ユネスコ研究会打ち合わせ会議 (市民交流プラザ)
- 5日/理事会
- 13日/広島県ユネスコ連協2013年度総会(市民交流プラザ)
- 27日/第156回ユネスコサロン「相互理解の平和論の軌跡」広島市立大学広島平和研究所 所長 吉川 元 教授